

いいたて村 裁縫教室



福島市 御倉邸(旧日本銀行支店長役宅)にて

平成 28 年度 まていな手仕事 生きがづくり事業

一般財団法人飯舘まてい文化事業団





はじめに

私たちが飯舘村のお母さん達と手仕事を始めて3年が経ちました。ふるさとの汚染により村を離れざるを得なかった女性達が、心から楽しめ、集まれる場所を作りたいという想いから始まりました。手仕事をするみなさんはいつも明るく、集まって笑い合う姿は村での暮らしを感じさせます。

創作意欲に溢れ、毎回様々な手仕事にチャレンジする姿を目の当たりにすると、単なる手仕事にとどまらず、アート芸術の領域に達するものづくりとなるまで応援したいと思えてきます。

「1人でやっても続かない、楽しくない」「皆で集まるからこそ力が出てくるし、笑うことができる」

そんな場を作り、提供することが大きな役割でもあるのではないかと、この事業を通して感じたことです。各回の手仕事に参加するお母さん達の姿を通してエネルギーを感じていただけたら幸いです。

飯舘までい文化事業団





いいたて村 裁縫教室



ブックカバー作り

2016年9月15日(木)

第一回目は早川先生によるブックカバー作りを行いました。紺の生地を使った文庫本サイズのブックカバーは、ペンを挿すポケット付きです。出来上がったブックカバーはノートカバーとしても利用できます。まずは一人ひとり好きな生地を選びます。ここでは恒例となっている、誰がどの色が似合うかという楽しいやりとりがされます。型紙通りに印を付けていったら、アイロンで押さえてミシンで縫っていきます。縫う工程をみんなで分担したりしながら、お揃いのブックカバーが完成しました。



みんなの声

スタッフの声

会場となった御倉邸は福島市の街中にありながら、福島市の文化財にもなっている歴史ある建物。アクセスもよいので参加者が集まりやすく、静かで落ち着いた空間です。

参加者の声

会場の雰囲気が高く、すぐ脇を流れる川の音を聴きながら手仕事をできたので心が癒やされた。

今日の名言

「老眼鏡かけてもなかなか漢字は読めぬ。」

講師：早川 トシ子 先生

いいたて村 裁縫教室



いいたて村 裁縫教室



壁掛け飾り

2016年10月21日(金)

干し柿の部分は古布の端切れを使っています。柿の色の配置や、縦横のバランスなどみなさん悩みながら、柿を並べていきます。今回はミシンを使わず、手縫いだけで作って行きました。鈴をつけたり、さるぼぼをつけたり、いろいろアレンジしてオリジナルの壁飾りになります。

針を持っておしゃべりをしながら、お茶を飲みながら、たまに会場の外を流れる川の音を聞いたりとゆったりとした時間が流れました。とても裁縫科らしいワークショップになりました。



みんなの声

スタッフの声

お母さん達は周りをよく見えています。わからない部分があると、隣の人がやっている事をじっと見ている。だから隣が間違っていると、一緒に間違えることもある。それでも笑って、これでもいい！とお母さん達。大らかで素敵です。

参加者の声

こうしたらあの人の家に合うかな？上に鈴とかさるぼぼ付けたらいいねー等考えるのが楽しかったです。

講師：木戸 三智子 先生

いいたて村 裁縫教室





竹のカゴ作り

2016年11月11日(金)

茨城の竹細工職人さんを講師に迎え、四海波という名前の竹カゴを制作しました。初心者向けですが、一生懸命やらないと終わらないと先生に言われ、黙々と作業をこなしていきました。普段からお裁縫で手を動かしているせいか、予定よりも30分も早く作品が完成しました。残りの時間では、みなさん積極的に先生に竹細工についての質問をしていました。材料を持ち帰って、さらにカゴ作りをしようとする方も。同じく竹で作られた飯館村の伝統芸能の田植え踊りの小道具を思い出すワークショップでした。



みんなの声

スタッフの声

今回は、お母さん達の器用さといざとなった時の集中力に驚かされた回でした。先生もこんなに頭の回転が良い方々珍しいですと褒めていました。お母さん達からもまたやりたいという声も聞けたので、来年度も竹細工のワークショップを開催したいと思いました。

参加者の声

他のモノも作ってみたいです。来年はみんなで先生の工房を訪ねてみたいと思いました。工程も見てみたいです。

今日の名言
「応用はできね、言われたことはできるけど。」

講師：勢司 恵美 先生

いいたて村 裁縫教室





漆絵と蒔絵のブローチ

2016年12月9日(金)

みなさんにとって生まれて初めての漆体験。漆作家の et craft factory のお二人が蒔絵のブローチづくりを教えてくださいました。蒔絵は漆の技法のひとつです。

et craft factory さんが用意してくれた図案の中から、それぞれ自分の好きな図案を選びます。ちなみにかわいらしいお花模様が人気でした。漆といえば赤や黒が思い浮かびますが、ほかにも青や黄色、緑など、絵の具のようにたくさんの種類の漆がありました。みなさん細やかな作業に緊張しつつも、着々とブローチが出来上がりました。



みんなの声

スタッフの声

今までお裁縫ばかりだった裁縫科ですが、服飾に関わる様々な技術や素材に触れてみたいと思い、今回は漆にチャレンジしてみました。違う素材に触れることで、みなさんの制作意欲がさらに増したように感じました。

参加者の声

出来上がった作品は、同じ図案でもひとつひとつみんなの個性が出ていたのが見ていておもしろかったです。作った各々に似合うブローチになりました。

今日の名言

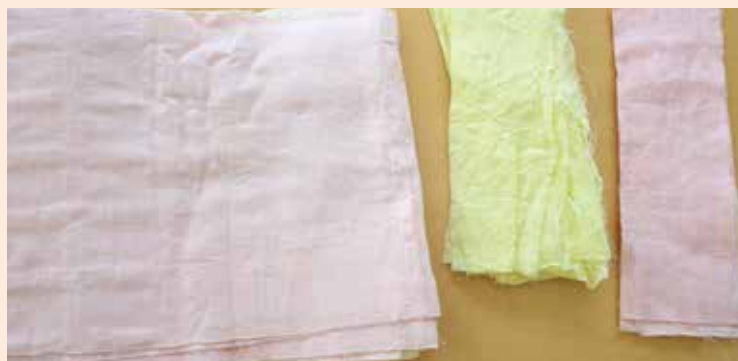
「先生たちは結婚してますか？
気になって作業できなくて（笑）」

今日のおやつ

講師：et craft factory (エト)

いいたて村 裁縫教室







草木染めのヘアバンド

2017年1月27日(金)

草木染めの布をヘアバンドにするワークショップを行いました。黄色は「キハダ」、ピンクの布は「スオウ」という植物を使って染色しています。自然からもらった色とは思えない鮮やかな色に、とても感動しました。ミシンでも作れますが、今回はみなさんの得意な手縫いでひと針ひと針までいに（丁寧に）仕上げます。生地はピンクと黄色、どちらか好きなほうを選んでもらいました。

寒さが本格的になると、人も空気もなんとなく暗くなりがちですが、みんなが集まればいつでも元気になれます。



みんなの声

スタッフの声

今回は開催が冬だったこともあり、前もって草木染めた布を用意してもらいましたが、次回は外に飛び出して、草木染めを習うのもいいかもしれません。

参加者の声

春らしい色の草木染めが可愛らしく、温かい気持ちになりました。みんなとお揃いで使うのが楽しみです。

講師：IM (イミッジ)

いいたて村 裁縫教室



いいたて村 裁縫教室



ピルタナウハ織物

2017年2月24日(金)

裁縫教室にとって初めての異文化交流です。今日の先生はフィンランド女子ユニット TAKKU のヘイディさんに来ていただきました。フィンランドの伝統の織り物「ピルタナウハ織り」を全国各地で教えています。フィンランドの伝統的な織り機で春らしい花模様のリボンを作りました。今回はこれも初めて。みんなで椅子に座って丸くなつての作業でした。このほうが、みんなの顔が見渡せて交流もしやすい、という発見もありました。とても明るく楽しいヘイディさん。終始笑いのたえないワークショップとなりました。



みんなの声

スタッフの声

今回のワークショップで習った技術を活かして、今度はみなさんが自分で作ったリボンを使って小物や洋服が作れたら、また楽しい作品が生まれるのでは…と期待して、今回のワークショップを企画しました。

参加者の声

初めて見る道具で初めての織りを体験しました。最初の糸を通す作業は大変でしたが、楽しいヘイディ先生のワークショップで、自分でももっとやってみたいと思いました。

今日のおやつ
フィンランドの飴

講師：TAKKU (タック)

いいたて村 裁縫教室





いいたて村 裁縫教室



メリンスの肌掛けづくり

番外編

大正～昭和初期のメリンス生地を使った肌掛けづくりを行いました。表地はパッチワークで仕上げます。ひと針ひと針縫うのは時間がかかりますが、昔ながらの布のデザインをじっくりと見ることができるのも、手を動かしながらみんなとおしゃべりすることも、ミシンではできないことです。

中はキルト綿、裏地もつけたら完成です。鮮やかで美しい、見ているだけで明るい気持ちになるような肌掛けが出来上がり。いつも以上に賑やかな裁縫科でした。



みんなの声

スタッフの声

鮮やかで、どこか懐かしい布地を前に色々な昔話が聞けました。記憶を新鮮なものへと蘇らせるきっかけになった今回のワークショップ。こういう時間がとても大切な事に気づきました。

参加者の声

いつもとは違って、自分たちの手慣れた手縫いでの作業だったので、みんなのおしゃべりにも集中できました。

今日のおやつ

講師：ボランティアの皆さま

いいたて村 裁縫教室



▼いいたて村文化祭



▲ふれあい集会 新春の集い



発表会

いいたて村文化祭

2016年10月29・30日(土・日)

ふれ愛館

飯館村内にある交流センター「ふれ愛館」を会場に、「いいたて村文化祭」が開催されました。

村内での開催は6年ぶり。その中にいいたて村裁縫教室のお母さん達の今まで制作した作品も展示しました。

2日間でのべ900人来場、こんなに多くの方々に見てもらえる機会はなかなかないので、活動を知ってもらうとても良い展示会となりました。



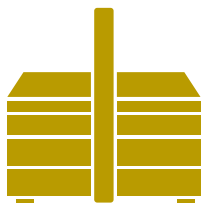
ふれあい集会 新春の集い

2017年1月15日(日)

パルセいざか

「いいたて村民ふれあい集会」での展示会は、雪の日の開催にも関わらず、約700人もの方が来てくれました。

展示スペースが小さく、数名だけの竹かごやブローチなどの小さなものだけの展示でしたが、裁縫教室以外の方々とも久しぶりに会えた人も多く、作品を前に色々な話に花が咲きました。



いいたて村裁縫教室

